



News Release

一般社団法人日本物流団体連合会
Japan Association for Logistics and Transport

〒100-0013
東京都千代田区霞が関3丁目3番3号
全日通霞が関ビル5階
TEL:03-3593-0139
FAX:03-3593-0138
URL:www.butsuryu.or.jp

平成27年10月7日

「第2回 ユニットロードシステム検討小委員会」を開催

(一社)日本物流団体連合会(物流連)は、平成27年10月5日(月)、第2回ユニットロードシステム検討小委員会(座長:増井 忠幸氏 東京都市大学 名誉教授)を千代田区的全日通霞が関ビルで開催した。

前回会合(7月末)の検討をふまえて、一定の整理が行われたことや、予定されているアンケート調査について素案が示されたことから、これらについて活発な議論が交わされた。また、今後の調査実施に向けて、より実態に即して修正すべき点が指摘されるなど、本調査が当団体にとって初の試みであることから慎重を期すべきであるとする意見も寄せられ、事務局側で見直しが行われることとなった。

委員会では、議題1として、手荷役実態に関する論点整理と実態把握調査の対象範囲の確認が行われた。論点については、ユニットロード化により実現される具体的な効果として、優先順位の高い順に4点あることが確認された(①長時間労働の抑制、②肉体労働の最小化、③モーダルシフトへの対応、④女性・高齢者の活用への対応)。調査の対象範囲については、トラック輸送など幹線輸送を中心とし、サイズはパレットサイズ相当としながらも、必要に応じロールボックス、6輪台車及びドローリー等を加えることとした。

続いて、議題2として、アンケート調査の実施に向けてアンケート素案が示され、物流連の会員企業を対象として、今月中にも実施する意向であることが伝えられた。これについて、調査対象が狭く十分な回答数が少ないのではないかという懸念が寄せられ、対象範囲を他の関係団体にまで広げることの可否について話し合われ、今後関係者間で調整が行われることとなった。

このアンケート調査は、各業種別に、「荷役の省力化・効率化」に向けて、物流現場における実態調査を行うものであり、手荷役作業の実状をより具体的に把握することを目指すものである。次回の小委員会開催は12月を予定している。

以上
事務局 小野



委員会風景



増井座長（写真左）